

目次

凡例 6

ヨーロッパ全体図 8

ドイツ国内図 10

組織図 11

まえがき 14

第1章 **アーネンエルベ協会の創立 1935年** 19

1 ヘルマン・ヴェルトのドイツ先史精神研究 19

2 親衛隊全国指導者ハインリヒ・ヒムラーとドイツ先史時代 29

3 全国農民指導者ヴァルター・ダレとアーネンエルベ設立 41

4 陰の実力者 事務総長ヴォルフラム・ジーフアース 48

第2章 **初期アーネンエルベの学術研究 1935—1937年** 62

1 全国食糧身分団から親衛隊への移行 62

2 ヴェルトの放逐 69

第3章

- 3 新たな研究指導者ヴァルター・ヴユストの加入 73
 - 4 初期の学術プロジェクトゲルマン研究／アリア学／宇宙氷説 79
 - 5 親衛隊の文化政策 エクステルン巨岩群／ルーン文字／ゲルマン新宗教の創出 89
- ## 拡張期のアーネンエルベ1937-1939年
- 97

第4章

第2次世界大戦までの研究業績-1939年9月

152

- 1 最初の粛清 97
- 2 親衛隊の出先機関 109
- 3 ヒムラーの御用学者たち 120
- 4 地方拠点と研究テーマの果てなき拡張 139
- 1 制度内での微妙な立場 152
- 2 ささまざまな学問 159
- 3 人種論と医学 163
- 4 アーネンエルベの著作物 174
- 5 ヴユストのアーネンエルベ回想録 183
- 6 1939年キール年次学会 188

第5章

文化政策における警察機能

199

- 1 文化福祉事業 199
- 2 不寛容と強制的同一化 205
- 3 洞窟・地盤研究の支配 211
- 4 大学政策のはじまり 215
- 5 ヒムラーとアルフレート・ローゼンベルクの敵対 230

第6章

ドイツ国境を越えた文化政策

239

- 1 ポーランドとロシアにおけるアーネンエルベの研究事業 242
- 2 南チロルとゴツチエーの文化委員会 263
- 3 ゲルマン学部隊 282
- 4 大ゲルマン主義の文化政策 312

第7章

戦時下の学術研究

318

- 1 さまざまな人文科学 318
- 2 評価の試み 329
- 3 人種論研究の現実 342
- 4 エルンスト・シエーファーと自然科学の優越性 355
- 5 ヒムラーの軍需政策 367

6 親衛隊発展の要かなめアーネンエルベ 378

第8章 アーネンエルベの軍事研究 384

1 エードウアルト・マイの害虫駆除研究 384

2 ジークムント・ラツシャーの凄惨な医学実験 391

3 解剖学研究 アウグスト・ヒルトとブルーノ・ペーガー 414

4 アーネンエルベの軍事医学研究の相対的価値 433

第9章 戦時中の文化政策の強制的同一化措置 450

1 ドイツ本国のカルスト・洞窟研究の強制的同一化 450

2 保護領の地盤研究 456

3 親衛隊の大学政策 465

4 先史・原史学とローゼンベルク 494

第10章 危機 514

1 部局A 515

2 部局長と部局長代理 520

3 ジーファース「レジスタンス」説 529

4 混迷と崩壊 569

第11章 望んだものと現実と

590

第2版へのあとがき

601

監訳者解説

612

年表

625

原注

752

図版出典一覧

755

参考文献

783

略語一覧

786

索引

791

人名索引

795

訳者一覧

797

ブックデザイン 鈴木成一デザイン室

校正 麦秋アートセンター

近年、ハインリヒ・ヒムラーとその親衛隊に関する無数の書籍が出版された。しかしながら、それらの本で眼につくのは、著者たちがヒムラーの文化政策上の野心を論じるさいにあまりにも遠慮がちなことなのだ。じつはこれこそが親衛隊の歴史で、それどころかナチスの思想史全体で非常に重要な複合的問題^{コンプレックス}なのである。文献が不十分であったというわけではない。それらの文献についてはすでにかなり以前からマイクロフィルムもオリジナル資料も利用可能である。文献の欠如もまた、研究上の無関心ほどたいした原因ではないように思われる。むしろ文献の欠如は、とりわけ1945年以後のドイツにおける史料編纂事業の確固とした傾向を反映しただけにすぎない。つまり、ナチズムの思想史を描写するよりも、当然ともいべきか、ナチスの支配構造とその支配に効力をもたせたメカニズムを明らかにするほうが、これまでのナチス研究には重要だと思われるからである。それは否応なしに組織史と制度史の重視につながる。そのばあいはなるほど、ナチズムのイデオロギーがナチスの支配装置の内的かつ外的構造をどの程度くらい同時に形成したのかが、まさしく誤認される恐れはあるだろう。かくして、第三帝国での階級組織を客観的に評価するためには、最後にはナチスの世界観にとらわれた、いわゆる「指導者原理」の理解が必須となる。いわばこの世界観を軽視すると、それもアルフレート・ローゼンベルクの『20世紀の神話』〔ナチズムの理論書〕によつてのみ把握されるものではないのであつて、ナチス研究が以下のような問いを見逃すことも、ときには起こってしまう。

すなわち、ナチズムの世界観によって空虚かつ無内容として排除されたナチズムの原則が、過去100年間の国家主義的およびドイツ民族主義的思想の核心をどれほど広範にカバーしていたか、またこのような原則がその思想的な伝統のせいで、それでもどのくらい真剣に受け取られざるをえなかったかという問いである。

「アーネンエルベ」は、ナチスに忠誠を誓う党員のだれよりも、1933年から1944年までのあいだにその支配権を国民社会主義的国家の考えられるかぎりすべての生活領域へと押し出して、親衛隊の政治権力も精神的な生活領域へと拡大しようと試みるハインリヒ・ヒムラーの原動力となった。「祖先の遺産^{エルベ}」という用語は、初見では、漠然としたロマン主義的なもののイメージをさまざまに想起させるかもしれないが、この解釈もまたそれほど外れてはいない。ハインリヒ・ヒムラーはその概念を自身で形成したわけではないからである。われわれが知る特別な事例では、この概念は民族主義理論家ヘルマン・ヴィルトの豊かな精神性由来するものだが、ヴィルトと同様にヒムラーも同一のものを考えていた。すなわち、ゲルマン人の祖先たちの遠い過去の世界から継承したと推定される価値ある財を知らしめ、それを再生したり、そうして獲得した「遺産^{エルベ}」を国民社会主義の日常における実践的・思想的レベルにまで実用化することである。このばあい、「祖先の遺産^{エルベ}」という概念は断じてヘルマン・ヴィルトの発明ではない。すでに1928年、「非のうちどころのないドイツ人」全員に対して、「祖先の遺産^{エルベ}、氏族学紋章学援助・遺伝学・人種保護同盟(社団法人)」という協会が、「純粹系譜学協会の目的を超えて、系譜学と氏族学を、遺伝健康学と遺伝学と人種保護との不可欠な結合をおこなうこと²」を宣伝していた。

1936年には「ドイツ祖先の遺産^{エルベ}」ドイツ語と歴史の授業のためのテキスト」という叢書があり、1941年に外国にいるドイツ人の民族性の弁護者がアーネンエルベという概念をゴツチエー「スロヴェニアの都市コチエーヴィエのドイツ名、かつてのドイツ語使用地域」で使用した³。最も広範な意味では、「祖先の遺産^{エルベ}」と

いう語は、ナシヨナリスティックな自己称揚がなされた時代の民族主義的な語彙に相当するのだが、第三帝國時代になってようやく誇張されすぎていたことがわかったのだ。たしかに、この語は国民社会主義思想の確実な構成要素になったものの、たいていの国民同胞にとってはけっして旧知のものではなかった。当然ながら、マルティン・ブローシャトは、この語をすでに周知の表現であった「血と土」と並記して、それによってその著『国民社会主義的慣用語法の山』において歴史的に分類したのだ。

1935年に研究教育組織アーネンエルベの活動がはじまったのだが、表面的には協会という地位の学会だったものの、ヒムラーの指示によってとりわけゲルマン人の原史研究に専念するものであった。むしろ、こうした特別なテーマ設定も、この研究組織のきわめて政治的な性格を決定的にしていたが、それも戦争勃発期になると学術的な問題の提起だけではもはや充分ではなくなつて、親衛隊および警察とともにナチスの恐怖を最も顕現するシンボルであることを背景に、文化政治上の支配機能をも必要とするようになっていた。1939年以後は、これらの役目をはたすことがアーネンエルベ協会本来の任務となつた。この組織の威嚇による脅迫からテロリズム行使までの過程は、総力戦で圧迫されている状況下ではただちに省略された。アーネンエルベは強制収容所の囚人で実験をおこない、ユダヤ人を個別に強制収容所へ追放するように指示した。かくして、この研究組織は犯罪の分野に手を染めていった。したがって、本書の著者にとってアーネンエルベという現象の研究が価値あるように思えるのは、ただその任務の多様性だけでなく、この組織がヒトラーの犯罪的独裁に寄与した最も従順な道具のひとつへと変容していったためでもある。

お手もとの書籍は、ハイデルベルク大学のヴェルナー・コンツェ教授の指導を受けた1966年の博士論文がもとになっており、ハンス・ブーフハイム教授にテーマのご示唆をいただいたものである。それ以来、この研究は著しく補完されて、元来のテーマ設定は拡大されている。年月が経つうちに、ミュンヘンの現代史研究所の親衛隊史料のほかに、さらにコーブレントツの連邦公文書館、ベルリン・ドキュメント・センタ

ー、ワシントン・ナショナル・アーカイブズ内の国会文書館（ここにはフィルムも保管されている）が所蔵するアーネンエルベ文書を利用できるようになった。これらの文書館は、アーネンエルベについての残存する公式書簡、さらにナチスや親衛隊の他機関に関する文書の大部分も保持しており、これらをまるごと閲覧するのにくわえて、目撃者の尋問記録、生存する同時代人の書面による情報によって補完がはかられたのである。後者の2種の資料については、全員を代表する方々として、ヴァルター・ヴェスト教授、フリードリヒ・ヒールシャー博士、ジーバー／ジーファース家のみなさまのお名前をここでとりわけあげさせていただきたい。これらの全員に深く感謝の意を表するものである。

本研究の書籍化は、現代史研究所のご厚意ならびにフォルクスワーゲン財団の大きかりな助成によってなされた。ここに両者へ深謝申し上げたい。さらには、1969年夏のヨーロッパの公文書館を歴訪する再度の研究旅行に資金援助してくれたオタワのカナダ・カウンスル財団にも感謝している。

歴史の証人のほかに、無数の人びとが本原稿に貢献してくださったが、あまりに大人数におよぶために、全員のお名前をあげられないのが残念である。変わることにない不断のご支援をいただいたのは、わたしの博士論文指導教授でもあったハイデルベルク大学のヴェルナー・コンツェ教授である。公文書館での研究にさいして、ワシントン・ナショナル・アーカイブズのローベルト・ヴォルフエ氏、現代史研究所のアンソニー・ホーホ博士から計りしれないほどのご尽力をたまわった。コーブレンツの連邦公文書館のキンダー氏とハンス・ブームス博士からも同様である。ハンス・ブーフハイム教授（マイニッツ大学、ラインハルト・ボルムス博士（トリア大学）には、本原稿を一読のうえご批判をたまわり、貴重なご示唆をいただいたことに感謝したい。アムステルダム国立戦争資料研究所のN・K・C・A・イントフェルト博士にたくさんの専門知識の評釈をいただいた。くわえて、シーフ・モット夫人とわが友アルベルト・D・モット教授には、スカンディナビア語文献利用時の実用的な助言と翻訳による援助に対して厚くお礼を申し上げる。ありがたいこと

に、バルドー・マース文学士とエルケ・クロイツマツハー氏には校正をお引き受けいただいた。万一、誤謬があつたばあい、すべて著者の責任に帰することはあえて強調するまでもない。

トロントにて、1973年5月

ミヒヤエル・H・カーター

索引

あ

- アウシュヴィッツ強制収容所 343, 351, 354, 369, 385-386, 388, 390, 400, 402, 411, 422-426, 429-430, 432, 439, 548, 602, 605, 612
アトランティス 85-86, 119, 618
アーネンエルベ財団 99, 109-110, 113, 152-153, 181, 204, 516
アーネンエルベ財団出版社 174, 179, 181-182, 330-331, 333-335, 339-340, 517, 520, 523

い

- イージズ
I Gアウシュヴィッツ 369
I Gファルベン 369, 386
インドゲルマン信仰史学科 159
インド・ゲルマン=ドイツ法制史学科 325

う

- V1号 370-371
ヴァーキング 259, 285
V2号 370
宇宙氷説 81, 85-89, 95-96, 119, 143, 145-146, 162-163, 205, 207, 376-377, 618
馬 364-367, 379-381, 436
『ウラ・リンダ年代記』 26-28, 74, 101
ウンターヴァッフェン
奇跡の兵器 370-371, 382

え

- エクステルン巨岩群 91-93, 100, 117, 134, 136, 151, 156, 158, 205, 207, 235, 241, 320, 328

お

- 応用言語社会学研究学科 324
オストマルク 128, 140, 160, 179, 194, 201, 211-213, 237, 242, 374, 451, 457, 462, 510

か

- 『回想録』 163, 165, 174, 184-188, 195
カトリック 77, 141, 161, 178, 193-194, 237, 295, 468-470, 554
カルスト・洞窟学科 147, 211-212, 363, 436, 456
カルスト防衛部隊 456
ガン 169-170, 172, 365, 391-392, 403, 412, 434, 438, 441-442
官立ドイツ移住帰国局 (ADERSt) 264-266

き

- 気象学科 88-89, 145
北アフリカ文化研究学科 346
旧石器 191, 214, 347, 460, 463
ギリシア学科 159
キム金 146, 372-376, 382, 595, 618
近東学科 160, 185, 204

く

- クヴェードリンブルク 73, 75, 100, 114, 135-136, 151, 158, 416, 431
クリミア 259-262, 276, 427, 503-504
黒の結社 432, 481, 486
軍事学目的研究所 389, 391, 399, 414, 420, 433-436, 439-442, 449, 493, 516, 527

け

- K計画 360, 428-429
ゲシュタポ 199-200, 203-204, 454-455, 457, 468-470, 481, 536, 543, 546, 553, 560, 568, 578, 612
ゲーテ・インスティトゥート 479
ケルト民族研究学科 326-327
『ゲルマーニエン』 64, 78, 117, 125, 141, 154, 157-158, 174-180, 182, 193, 195, 208, 241, 320, 331, 335-336, 511, 544, 574
ゲルマン学部隊 (GWE) 282, 291, 296, 298-299, 302, 305-310, 313-316, 516, 520, 526-529,

575, 576-577, 584
ゲルマン学科 77, 91, 186
ゲルマン義勇兵管理局(親衛隊本部第VI局、
部局VI) 285, 288, 290-291, 300, 303, 304,
316, 574, 577, 582, 584
ゲルマン研究所 289, 290, 295, 302-303, 572-
573
ゲルマン言語学・地域研究学科 186
ゲルマン建築学科 160
ゲルマン・ドイツ民族学科 142, 350
言語学科 74, 76, 139

こ

高空実験 393, 396, 406, 444
交友会 114, 516-517, 522, 531, 554
コーカサス 257, 259, 260, 262, 314, 359-361,
426-428, 502, 602
極秘政治言語学科 324
国民政治研究所(ナーポラ) 290, 482-483,
626
国家教育省(REM) 105, 123, 125, 136, 193,
224-227, 229, 230-232, 234-238, 247, 251-252,
322, 358, 464-465, 467-471, 475-477, 479, 486,
488-492, 509-511, 594, 596-597
国家研究評議会(RFR) 128-129, 369, 377,
433, 435, 437, 441, 492-493, 516, 569
国民社会主義ドイツ大学教員連盟 224, 238,
476-477
国家先史・原史学研究所 231, 509
国家東部省 502, 504-506
ゴツェー(コチエーヴィエ) 15, 249, 279-281,
323
古典文献学・考古学科(古典古代学科) 120,
159
コミッサール・ベフェール 415-417, 421
昆虫学研究所 387-388, 418

さ

ザクセンハウゼン強制収容所 297, 377, 421,
436, 552, 590

ザルツブルク学術週間 171, 192-195, 237-239,
483
山岳ユダヤ人 427-429, 602

し

親衛隊警察隊裁判所 519
親衛隊国家保安本部 64, 114, 243-245, 252-
253, 255-258, 339-340, 377, 422, 464, 491, 522,
552, 554, 556, 560, 578, 580-582, 585, 588
親衛隊人種・移住本部(RuSHA) 45, 63-66,
68, 107, 111-112, 114, 135, 147, 149-150, 161, 263,
344, 349, 415-417, 422, 431, 545, 571-573, 578,
587
親衛隊突撃隊(SA) 46, 57, 58, 124, 160, 488,
496, 544
親衛隊保安部(SD) 60, 73, 161, 195, 199-201,
208, 215-216, 218, 220, 225-226, 366, 427
親衛隊本部(SSHA) 64, 112, 118, 150-151, 158,
170, 250, 285, 288, 290, 303-304, 408, 482, 505,
515, 518, 526-527, 531, 574, 577-578, 580-582,
584, 594, 596
人体実験 168, 173, 365, 387, 391-393, 397-398,
401, 410, 414, 420, 434, 437-438, 441-443, 445,
537-539, 555, 559, 561, 566, 568, 592, 606-607,
612

す

頭蓋骨 415-419, 421-422, 424-426, 429-432

せ

生存圏 164, 198, 472, 485
生物学科 165, 344, 346
世界観教育 36, 40, 111, 571, 574, 596
全国指導者ローゼンベルク特別行動隊 502-
504, 603
全国食糧身分団 44-46, 48, 62-65, 68-69, 90,
99, 108, 113, 128-129
占星術 32, 56, 84, 203, 557
ゼンハイム集中教育収容所 308-309

た

ダウジングロッド 146, 375-376, 618
ダウジングロッド学科 363
ダツハウ強制収容所 168-170, 373, 357, 364,
372, 375, 381, 387-389, 391-394, 396, 399, 401-
402, 406, 411-413, 420, 434, 437, 442, 445,
447-448, 553, 558, 603, 606, 610, 612

ち

地域・シンボル学科 186
地球物理学学科 363, 376
チベット 131-133, 187-188, 350, 355-360, 362, 364-
366, 373, 379, 396, 417, 426, 477, 604-605,
614, 617
中央アジア 350-351, 354, 362, 423, 425-427,
429-430
中央アジア研究・探検学科 357, 433
中世史・近世史学科 160
中世ラテン語学科 326

て

低温実験 399, 402, 412, 441, 447-448
ディーレヴァンガー受刑者旅団 396

と

ドイツ・アカデミー 478-480, 546
ドイツ移住信託公社 (DUT) 264
ドイツ・イタリア資産価値評価委員会 264
ドイツ研究協会 (DFG) 62, 99, 113, 123-125,
127, 129-130, 153, 161, 226, 231-234, 240, 515,
516
ドイツ国籍選択者労働組合 (AdO) 264, 267,
277
ドイツ先史学全国連盟 229, 233-234, 458, 511-
513
ドイツ洞窟研究者中央連盟 201, 211, 213, 451-
452, 454
ドイツ民俗学地図 ^{アトラス} 232-233

ドイツ民俗学研究協会 234
ドイツ民俗学科 126, 159
ドイツ民族研究全国協会 233
ドイツ民族強化全国推進委員 (RKF) 112,
246-251, 254, 261, 263, 265-266, 270, 272, 278,
280, 290, 504
ドイツ民族強化全国推進部 249-251, 254-256,
264, 268, 279, 321-324, 327, 342, 516, 583
冬至 31, 94-95, 117, 119, 176, 213
東部信託公社 246-248, 251-254, 256, 492
東部占領地域省 315, 524
動物地理学・動物史学科 147, 187
毒ガス 386, 412, 421, 447, 562
特殊部隊K 360, 362, 428-429
特別学科M (M学科) 377, 436

な

ナツツヴァイラー=ストリュトフ強制収容所 386,
420-421, 423, 606

に

『20世紀の神話』 14, 235-236, 618
ニュルンベルク裁判 49, 61, 137, 169, 173, 267,
395, 397, 416, 443, 446-447, 486, 499, 516, 524,
526, 528-529, 531, 533, 536, 539, 550-551, 553-555,
558-559, 561, 568-569, 580, 592, 616

の

ノイエンガンメ強制収容所 309, 385
『ノルトラント』 178-179

は

ハイタブ (ヘーゼビュー) 136-138, 151, 160, 191,
196, 330, 494-496
ハインリヒ祭 73, 75, 114, 157-158
^{ハウス・デア・ナトゥーア}
自然の家 163, 358-359, 364, 534, 558
発掘学科 137, 139, 147, 431
発疹チフス 384-386, 390-391, 442

バルカン 188, 335, 354, 498, 511
ハンマー
『槌』 298, 314

ひ

標章・氏族章学科 148, 156, 186

ふ

部局A 515-517, 520-522, 525, 527, 557, 580-581,
583-587, 590-591

武装親衛隊 65, 171, 258-259, 261, 284-286,
288, 300-301, 307, 313-314, 319-320, 350, 362,
375, 381, 388, 399, 404, 413, 432-435, 438-439,
441, 456, 481, 486, 488, 505, 518-519, 521, 551,
565, 566, 572, 574, 576

不妊手術 439

ブーヒェンヴァルト強制収容所 308-309, 367,
386-387, 403, 411, 438, 553

フリーメイソン 293, 472

文化委員会 265-269, 272-278, 280-281, 532, 555

文化財 151, 191, 213-214, 242-244, 251-253, 255-
258, 265, 266-268, 273, 275, 277-278, 280, 294,
297, 457, 460, 462-463, 489, 494-496, 501, 503

へ

ヘディン中央アジア・探検研究所 358-359

ほ

ホーネ・シュレー
高等学院 219, 235-237, 470-475, 479-480, 502,
507, 509

保護領 201, 211-212, 214-215, 457-463, 465, 474,
484, 496, 501, 511, 513, 523

ポリガル 413-414, 437, 441, 445

ま

魔術 32, 122, 147

魔女 586

マラリア 387, 389-391, 413, 559

み

ミッターゾル城 359, 362, 364, 380, 423-424, 430,
432, 484, 520, 535, 593

南チロル 249, 262-281, 291, 313-315, 319, 321-
323, 330-331, 504, 516, 526, 532, 538-539, 555,
565-566, 568, 598

め

メルヒェン・伝説学科 77, 125, 321-322

も

文字・シンボル学科 125, 127, 139, 320, 328

モラヴィア 212, 214, 276, 293, 457-460, 462,
464, 494, 521, 590

森と樹木 108, 128, 131, 241, 331

文部省 220, 244, 375, 460, 489, 491

ら

ラテン語学科 159

ラーフェンスブリュック(女性)強制収容所
401, 409-410, 434, 439

る

ルーン文字 27, 31, 34, 47, 94-95, 120, 181, 184,
327-328, 334, 341, 564-565

ルーン文字学科 328

れ

レジスタンス 530, 532-533, 537, 539-540, 542-
544, 546-547, 550, 555, 558-559, 561-563, 567-

⁵⁶⁸
レーベンスボルン
生命の泉 150, 343, 345, 515, 519

ろ

ロスト(マスタードガス) 420-421, 447-448

ローゼンベルク事務局 193, 213, 227, 232, 234-
238, 267, 473, 474-475, 501-502, 507-509, 609-
610

人名索引

ア

アイヒマン、アドルフ 351, 422, 429-430, 454
アーベル、ヴォルフガング 350, 354, 426, 604
アルトハイム、フランツ 129, 131, 165-166, 177,
181, 193, 334-335, 338, 486

イ

インナーエーブナー、ゲオルク 267, 278-279,
331

ウ

ヴァイゲル、カール・テオドール 94, 126-127,
177, 186, 222, 232-233, 320, 328-329, 487, 598
ヴァーガント、テオドール 38-41, 231, 497
ヴァーネルト、カール 357, 373-376, 380, 382
ヴァリグート、カール・マリア 34
ヴィルト、ヘルマン 22-28, 34, 45, 56-57, 70-75,
96-97, 100-101, 104-107, 124-127, 137, 186, 206-
207, 218, 226-227, 232-233, 530-531, 550-551, 563
ヴィルフオンゼーダー、クルト 192, 212-215, 457,
462-463, 489-491, 499-500
ヴィンマー、ヨーゼフ 363, 374-376, 380
ヴェセリー、クルト 324
ヴェルツ、ゲオルク・アウグスト 392-393, 403,
445, 448
ヴォルフ、カール 67-69, 110, 121, 150, 278, 398,
605
ヴォルフ、ベンノ 201, 211-212, 454-455, 560, 567
ヴォルフラム、リヒャルト 142, 181, 204, 209, 228

エ

アーベル、ヴォルフガング 325-327, 338
エックハルト、カール・アウグスト 129, 219, 223,
326

オ

オーレンドルフ、オットー 578-580, 588

カ

カイザー、フリートヘルム 182, 242, 332, 549
ガルケ、ブルーノ 67-68, 78, 91, 97-99, 103,
110, 152-154, 178, 318

キ

キス、エトムント 87, 116, 147, 162, 176, 188
ギュンター、ハンス・F・K 43, 164, 353, 597
キンケリン、ヴァイルヘルム 48, 64, 66, 68-70, 97,
108, 202
キーンレ、リヒャルト・フォン 326, 334

ク

クヴェルマルツ 267, 322-323
グライテ、ヴァルター 164-165, 344, 346, 348
グライフェルト、ウルリヒ 249, 251, 254, 263-
264, 275
グラヴィッツ、エルンスト 386, 439-440, 442
クラウス、ルートヴィヒ・フェルディナント 350-
355
クラウゼ、ヴォルフガング 327-330, 335, 338-339,
341, 598
クリスティアン、ヴィクトール 159, 177, 193, 204,
220-221, 269, 347, 465-466, 489
グレンハーゲン、ユルヨ・フォン 77, 131, 222,
321, 338, 487

ケ

ゲーリング、ヘルマン 86, 128, 244, 246-248,
251, 253-254, 335-336, 376, 392, 395
ケルシエンシュタイナー、ユーラ 334, 341
ケルステン、カール 258-259, 262-263, 296, 313,
495
ケルステン、フェーリクス 33, 160, 166-167, 309,

343, 368, 552-553

コ

コッシーナ、グスタフ 36-40, 92

サ

サイプ、デイドリク・アルプ 297, 552-553

シ

シェーファー、エルンスト 131-134, 187, 350, 355-360, 362-367, 373, 379-381, 396, 414, 423-429, 433, 436, 484, 487, 502, 518, 520, 522, 557, 572, 593, 614, 617

ジックス、フランツ・アルフレート 60, 115-116, 157, 195, 216-217, 221, 226, 243-244, 257-258

ジーベルト、ルートヴィヒ 19, 479-480

シャフラン、エメリヒ 140-142

シュヴァイツァー、ブルーノ 130-131, 140, 162, 186, 192, 210, 267, 272, 319, 321

シュヴァルツ、フランツ・クサーヴァー 290, 517, 584

シュヴァルム、ハンス 281, 290, 297, 304-306, 309-313, 580

シュヴァンテス、グスタフ 189-191, 230, 462-463, 489, 495

シュトカール、ヴァルター・フォン 295, 303, 307, 331, 512-513

シュトルンプフ、エルンスト 137-138, 388-389

シュナイダー、ハンス 288-289, 291-292, 294-295, 303, 305, 313, 315, 527, 529, 575-577, 580-582, 584-586, 605, 611

シュペーア、アルベルト 371-372, 377

シュミット、ローベルト・ルドルフ 135, 498-499, 569

シュミット=ローア、ゲオルク 322, 324, 519

シュライフ、ハンス 35-36, 39, 135, 137-138, 196, 214, 229, 245-247, 251-252, 254, 363, 489, 497-498

シュレーダー=シュトランツ 371-372, 379, 381,

558

シューレンブルク、フリッツ=デイトロフ・フォン・デア 532, 536, 543

シーラッハ、バルドゥール・フォン 31, 86, 234, 491

シリング、クラウス 387, 413-414

ス

スクールテウス、ハンス・ローベルト 87-88, 145-146, 156, 162-163, 183, 207, 363, 376-377

タ

タッケンベルク、クルト 290-291, 302

ダレ、リヒャルト・ヴァルター 41-46, 48-49, 63-66, 68-70, 78, 97, 102, 107-109, 111-112, 200, 234, 249, 615

ツ

ツオッツ、ロータル 458-459, 569

テ

テイルマイヤー、フランツ 159, 165-166, 177, 193, 195, 221, 321, 334-335, 338, 471, 518, 598

テイル=ラッシャー、ニニ(カロリーネ) 169, 171, 391, 393-394, 405, 410, 517

テイル、ルドルフ 120, 124, 159, 165, 177, 193, 228, 334-336, 338

テーリングン、ギュンター 251, 258

ト

トイト、ヴィルヘルム 37, 77, 91-94, 139, 175, 210-211

トラッツ、エドゥアルト・パウエル 116, 163, 245, 358-359, 364, 366, 452-453, 534-535, 557

トロヤーン、ルドルフ 354-355, 423-424

ハ

ハーゼ、ヘルマン・フォン 86-88, 101, 182
ハイスマイヤー、アウグスト 150, 482-483
ハイドリヒ、ラインハルト 115, 150, 339, 346, 485, 615
ハイバー、ヘルムート 126, 209, 224-225, 604
ハインリヒ1世 31, 73, 100, 135-136, 151, 156-158, 160, 176, 192, 198, 416
ハウスホーファー、カール 478
パウルゼン、ペーター 230, 244-245, 256, 304, 575-578
ハルダー、リヒャルト 470-471, 476, 479-480, 509
ハルムヤンツ、ハインリヒ 125-126, 139, 159, 186, 189, 220, 224-227, 233-234, 236, 247, 251-252, 321, 467, 486, 488, 491-492, 594

ヒ

ヒールシャー、フリードリヒ 17, 52-58, 60-61, 103, 292, 530-533, 535-537, 539-551, 554-561, 563-564, 567-568, 606-608
ヒルト、アウグスト 351, 404, 415-425, 429-433, 435-436, 438-440, 442-443, 445-448, 492, 527, 559, 561, 590, 602-603

フ

ファウト、フィリップ 88, 145-146
フィンケ 399, 401-402, 448
フサイニー、アミン 595-596
フート、オットー 121, 124-125, 159, 181, 197, 201, 208, 228, 308, 321, 334, 346, 348, 488, 520, 549, 610
フライシュハッカー、ハンス 422, 429, 604
ブラウン、ヴェルナー・フォン 144, 370
ブラースマン、ヨーゼフ・オットー 64, 77-78, 82, 84, 122, 125, 175-180, 184, 186, 189, 192, 198, 206, 208, 210, 223, 299, 308, 320, 326, 335-339, 341-342, 480, 487-488, 520, 523, 546, 552-553, 555, 574, 594, 597, 610

ブランク、マックス 183
プラント、ハンズ 212, 363, 436, 451-456, 523
プラント、ルドルフ 110, 166, 170-171, 311, 339, 351, 403, 406, 413, 417-418, 422, 439, 444, 502, 526, 560, 578, 581-582, 584-585
ブリュエヒャー、ハインツ 364, 378, 436, 524, 590-591
プレトナー、クルト 413-414, 433, 435, 437, 442, 528, 558

ヘ

ベーカー、ブルーノ 348-351, 353-357, 414-417, 421-432, 604-605, 610
ヘス、ルドルフ 238, 478-479, 606, 612
ペスト、ヴェルナー 296, 486, 542, 551-552, 606
ペーターゼン(ボーゼン)、エルンスト 190, 244, 251-252, 254, 258
ヘディン、スヴェン 358-359
ヘラー、フロリアーン 452-454
ペルガー、ゴットロープ 284-288, 290-291, 294, 300-301, 306, 316475-476, 505, 526-527, 574-575, 580, 582-585, 596
ベルク、アレクサンダー 438
ヘルビガー、ハンズ 85, 87-88, 145-146, 205, 207, 618
ヘーン、ラインハルト 115, 199-200, 216, 219, 225-226

ホ

ボイムラー、アルフレート 24, 75, 235-236, 474, 480, 509
ホーファー、フランツ 274-278
ボーマース、アシエン 137-139, 192, 214-215, 241, 348, 457, 460, 464, 487, 490-491
ポール、オスヴァルト 109-111, 118, 149-150, 152, 158, 211, 363, 371, 388, 434, 437, 442, 516, 574
ホルツレーナー 398-402, 445, 448
ポルマン、マルティン 164, 230, 238, 291, 353, 371, 469-471, 475, 504-505, 511, 579

マ

マイ、エードゥアルト 386-391, 433, 435-436, 438, 441-442, 492, 558
マイ、ヴィルヘルム 245, 267, 291, 310, 313, 321, 322
マウサー、オットー 101, 227-228

ミ

ミュールハウゼン、ルートヴィヒ 326-327, 486

ム

ムツリーニ、ペニート 270-271, 274, 275-277

メ

メツナー、エルヴィン 43-46, 68-70, 97
メルク、マティルデ 26, 105, 137, 195
メンツェル、ルドルフ 224-226, 231-233, 236, 311, 322, 468, 471, 484, 486, 489, 492-493, 509-511, 578, 604
メンゲレ、ヨーゼフ 439, 612

ヤ

ヤンクーン、ヘルベルト 136-139, 147, 160, 190-193, 195-197, 230, 256-262, 305-306, 313, 315, 330, 335, 363, 462-463, 489-490, 494-495, 498, 501-504, 508-511, 513, 522

ラ

ライシュレ、ヘルマン 44-46, 64, 68-70, 97, 104, 108
ライナー、フリードリヒ 193, 237, 483
ライネルト、ハンス 38-39, 93, 232-235, 490
ライヒヴァイン、アドルフ 531, 536, 544
ラッシャー、ジークムント 168-173, 365, 391-414, 417, 433-434, 436-443, 445-448, 493, 519, 527-528, 531, 559, 561, 603, 612

ラングスドルフ、アレクサンダー 35-36, 38-41, 76, 112, 123, 136-137, 150, 231

リ

リッターブッシュ、パウウル 194-195, 322-323
リートヴェーク、フランツ 284-285, 288, 302, 316, 551
リーマー、ユリウス 211, 213, 452-455
リュッツェルブルク、フォン 365, 558

ル

ルスト、アルフレート 191, 241, 511-512
ルスト、ペルンハルト 39, 193, 224-225, 227-229, 231, 237-238, 460, 469-470, 477, 482, 489, 491-492, 528, 578
ルツベル、カール・コンラート 127-128, 177, 186, 223, 321, 326, 338, 487, 560
ルドルフ、マルティン 160, 221, 267, 319, 321, 330

レ

レフラー、ヘルマン 160-161, 197, 201, 210
レーマン、パウウル 326, 341
レーマン=ハウプト、ヘルムート 256, 260, 341, 597

ロ

ロムベルク、ハンス・ヴォルフガング 393-396, 399, 447

訳者一覧

[監訳者] 森 貴史 (もり・たかし)

1970年、大阪府生まれ。Dr. phil. (ベルリン・フンボルト大学)。

現在、関西大学文学部(文化共生学専修)教授。

*主要著書—『裸のヘッセ ドイツ生活改革運動と芸術家たち』(単著、法政大学出版局、2019年)、『踊る裸体生活 ドイツ健康身体論とナチスの文化史』(単著、勉誠出版、2017年)、“Klassifizierung der Welt. Georg Forsters *Reise um die Welt*.”(単著、Rombach Verlag、2011年)、『ビールをく読む』ドイツの文化史と都市史のはざままで』(共著、法政大学出版局、2013年)、『ドイツ王侯コレクションの文化史 禁断の知とモノの世界』(編著、勉誠出版、2015年)など。

[共訳者] 北原 博 (きたはら・ひろし)

1970年、埼玉県生まれ。博士(文学)。現在、北海学園大学法学部教授。

*主要著書—『ゲーテの秘密結社—啓蒙と秘教の世紀を読む—』(単著、大阪公立大学共同出版会、2005年)、『ドイツ王侯コレクションの文化史 禁断の知とモノの世界』(分担執筆、勉誠出版、2015年)など。

溝井裕一 (みぞい・ゆういち)

1979年、兵庫県生まれ。博士(文学)。

現在、関西大学文学部(文化共生学専修)教授。

*主要著書—『水族館の文化史 ひと・動物・モノがおこなす魔術の世界』(単著、勉誠出版、2018年)、『想起する帝国 ナチス・ドイツ「記憶」の文化史』(共編著、勉誠出版、2016年)、『動物の文化史 ひとと動物の5000年』(単著、勉誠出版、2014年)など。

横道 誠(よこみち・まこと)

1979年、大阪府生まれ。

現在、京都府立大学文学部(欧米言語文化学科)准教授。

*主要著書—『はじまりが見える世界の神話』(分担執筆、創元社、2018年)、『「神話」を近現代に問う』(分担執筆、勉誠出版、2018年)、„Germanistik zwischen Tradition und Innovation.“(分担執筆、Peter Lang、2017年)、『グリム童話と表象文化 モティーフ・ジェンダー・ステレオタイプ 野口芳子退職記念論集』(分担執筆、勉誠出版、2017年)など。

松津景子(ふなつ・けいこ)

京都府生まれ。

現在、関西大学、京都産業大学など非常勤講師。

*主要著書・訳書— „Wenn meine Haare lang wachsen“(高樓方子著、独訳、2013年)、„Momotaro, der Pfirsichjunge – Ein japanisches Volksmärchen –“(独訳・解説2011年、紙芝居版2012年)、„Dank des Kranichs – Ein japanisches Volksmärchen –“(独訳・解説2009年、紙芝居版2012年、以上Edition Bracklo)、『現代ドイツを知るための62章』(分担執筆、明石書店、2013年)。

福永耕人(ふくなが・こうと)

1989年、大阪府生まれ。

現在、大阪大学大学院文学研究科(西洋史学)博士前期課程2年在籍中。

*主要論文— „Militäruniform und Prächtigkeit: Als Symbol der aristokratischen Mentalität der Offiziere im deutschen Kaiserreich“(単著、『パブリック・ヒストリー』、大阪大学西洋史学会、第15号、2018年)。

ミハエル・H・カーター

Michael H. Kater

1937年、ドイツのツィッタウ生まれ。

ハイデルベルク大学で博士号取得後、トロントのヨーク大学で教鞭をとる。

現在、ヨーク大学特別名誉教授(歴史学)、カナダ王立協会フェロー。

文化的側面からのナチズム研究をおこない、

国際的に高い評価を受けている。

著書に『第三帝国と音楽家たち』(マイケル・H・ケイター名義、アルファベータ)、

Hitler Youth (Harvard University Press)、

Culture in Nazi Germany (Yale University Press) などがある。

Kater, Michael H.: Das "Ahnenerbe" der SS 1935-1945

© Walter de Gruyter GmbH Berlin Boston. All rights reserved.

This work may not be translated or copied in whole or part
without the written permission of the publisher

(Walter De Gruyter GmbH, Genthiner Straße 13, 10785 Berlin, Germany).

Japanese translation published by arrangement with Walter de Gruyter GmbH
through The English Agency (Japan) Ltd.